

足立区立栗原北小学校
校長 石川 雅章 様

足立区立栗原北小学校 開かれた学校づくり協議会

令和4年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

・家庭学習強化について10分×学年、家庭学習強化週間の6月・10月の達成率92.2%、強化週間以外では80%は素晴らしい。

さらに個々にあった学習を家庭だからこそできる苦手科目や振り返り、学年を下げての復習時間にしていくと基礎学力の定着に反映していくと思う。

また家庭学習については保護者が達成時間にとらわれず内容に重視をおくことが今後さらに大切になっていくと思う。

・ICTの活用が進んだ。1人1台でタブレットによる学習ができるようになり、授業の様子も変わり驚いている。より理解を深めることができ、個々の弱点を見つけやすくなったうえに、分からないことをすぐに検索できる環境は素晴らしいと思う。

学力向上アクションプランの達成度が他の項目に比べて若干低く自己評価されているようですが、校内研究等の項目では先生方が熱心に指導されていることが伝わり、来年度以降に期待している。

・今年度も厳しい状況の下、感染症対策をしっかりとりながら学校運営に努めてもらいありがたかった。来年度は他学年交流や保護者参加の機会がさらに増えていろいろな体験が出来ると思う。

・新型コロナウイルス感染症が完全に収束しないまでも、徐々にではあるが学校行事も正常に戻りつつある中での一年間になった。そんな中、各項目とも概ね目標を達成することができたようである。目標達成のために努力されている教職員、児童の様子が感じられた。コロナ禍でタブレットを活用したIT教育の充実や、外遊び、運動不足による体力の低下等、メリット・デメリットがあったと思うが、更なる飛躍を期待する。

「自己評価書」は大変具体的でわかりやすい。

・自己肯定感、自尊感情が高まっている様子にとっても安堵した。

・来年は今年よりさらに通常の学校生活に戻ることを期待している。学力はもちろんだが、一度低下した体力をいかにして向上を図るか具体的な策が必要だと感じた。

・通いたい学校、通わせたい学校、勤めたい学校を目指し努力してもらっていると感じるし、我々もそのつもりで活動してきた。

・4年度になり、少しずつ日常が戻り、学校行事が復活していることは喜ばしい。

学力向上も大切だが、心の教育・情操教育もしっかり取り組んでほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

・コロナの感染状況が落ち着いてきているが、まだまだ以前のような生活に戻れない中で、精一杯子供たちのために行事等を開催してもらえたと感謝している。今年度はくりきたまつりも開催され、学校・保護者・地域が協力し「チーム栗北」を実感することができる年だった。

・保護者、地域を含めた「チーム栗北」としてどのように連携することが児童一人一人に必要なか、より良い学校づくりに必要なか、それぞれの立場で考えることが大切かと思う。

・保護者はコロナ禍で学校に来ないことが普通になってしまっているところがあると感じる。保護者同士のつながりが薄くなっており、PTA 活動にも少なからず以前とは異なる空気が流れているように思う。以前より働く母親が大変増えていることにより、PTA 活動へ非協力的な雰囲気を感じる。今後の活動について見直していく必要性があると思う。

・放課後子ども教室「くりっぷ」を開催するスタッフとしても他学年での活動が少なくなり遊びの伝承等がなくなってしまったことが気になる。

特に下の学年との関わりは思いやる心を育てると思うので来年度は「くりっぷ」での経験がふえるよう開催体系をコロナ前に戻すよう努力したい。

・読書マラソンの目標達成者38%は少し低いかと感じました。また読んでいる、いない児童の差も文章の理解力や自分の考えを相手に伝える力の差につながるのならば、早急に取り組みの見直しが必要かと思う。

・読書について、図書ボランティアによる読み聞かせは再開させるとのことで大変有意義であると思う。

・体力向上については、外遊びの場所の一つとして「くりっぷ」も協力できる。

・子供から挨拶をしてくる子が以前に比べて少なくなっているという事。大きな声で気持ちよく挨拶ができるようになってほしい。

・いじめや不登校について「学校の努力についてわからない」との回答数21.3%。「だより」や「行事」などを通じて幅広く人権啓発の取り組みを行ってほしい。

(例) ジェンダーの平等、子供の人権、子供の権利条約、障害のある人への差別、偏見をなくそう。外国人の人権を尊重しよう、等。

・学校教育診断アンケート④「子供たちにとって楽しく充実したものになっていますか」の評価が非常に高いことがうれしく思う。先生方の努力と思う。自由記述欄にあるように、制限のある中でも子供たちの思い出づくりにご尽力いただいたことが保護者に伝わって良かったと感じる。

・保護者は概ね好意的なアンケート結果で良かったように思う。ただあまり保護者に迎合せず校長先生のやりたいこと、ポリシーを進めてほしい。

3 その他

・1年生が家で宿題をやりたい理由が保護者の前で勉強しているところを見てほしい、とのことだった。勉強をさせられるのではなく自ら勉強して褒めてもらう事がいかに嬉しいことなのかを改めて知らされた。

また稲や千住葱の栽培はとても良い経験だと思う。稲の束や千住葱の持ち帰りの時は育て方や調理の仕方等でにぎやかだった。「くりっぷ」では忘れ物が多いが、この日はきちんと持ち帰っていた。今後も続けられると良いと思う。

- ・落ち着いたいるクラスとそうでないクラスの差が大きいと感じた。
- ・<学校教育診断アンケート>添えられた「自由記述欄」は保護者の様々なご意見を知れて、とても参考になりました。回答率213/399 53%は低いと感じる。学校への関心や期待がもう少し高くあってほしいと思う。
- ・登下校時、通学路で校帽を被っていない、また校内で名札を着けていない児童を時々見かける。ルールがあるのならみんなで守ろう。
- ・いつも学校HPに「トピックス」をあげてもらいありがたい。今後ブログのような形でより情報を受け取り易くなると良いと思う。
- ・栗北小の児童が明るく元気で充実した学校生活を送れることを願っている。
- ・人権教室の要望をもらえれば、足立区人権擁護委員がいるので検討してほしい。
- ・くりきたまつり、漢検、数検、他多くの行事を再開し、また前向きに取り組んでもらいありがたかった。子供たちにとっても保護者にとっても、とても充実した一年になったと思う。
- ・タブレット端末を利用し始め、子供たちも慣れてきていることは良いことだと思うが、ゲームが出来てしまったりするところはいかななものかと思う。制限はかけられないのか。またキュビナが冬休みの宿題として出たが、復習パートがメインより長すぎてなかなか終わらず、子供は目が痛い、終わりたいのに終われないと困っていた。紙のワークで問題ないと思う。復習パートは同じ問題が何度も出てきて、答えを覚えてしまって意味がない。書くことも必要だと思う。ワークではなく違う宿題（例えばプレゼンテーション等）を出すならわかるが、キュビナは時間もよめないし、キュビナにする理由がわからない。
- ・いじめ問題はなくならないと言われているが、しかし無くすように最大限周りの大人が注意を集中することだと思う。
- ・2月4日の20分休みで、子供たちが楽しそうに遊んでいるのを見て安心した。